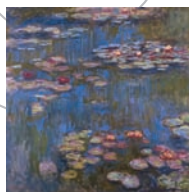


ZEPHYROS

ゼフュロス No.39

The National Museum of Western Art, Tokyo 国立西洋美術館ニュース

ISSN1342-8071



開館
50周年を
迎えて



1959年竣工当時の本館外観



1979年竣工当時の新館外観

開館 50周年を 迎えて

国立西洋美術館は今年の6月で開館50周年を迎える。人間にたとえるなら壮年期を迎えたことになるのであろうか。

開館したばかりの数年間、フランスから寄贈返還された松方コレクションの絵画や彫刻によって多くの来館者をひきつけ、来館者が1日8000人をこえる日もあったという。特別企画展ではなく、常設展にこれだけ多くの方々が来館されたことは、いまでは考えることができないほどの昂揚した昭和30年代だったのであろう。その意味で、好奇心に満ちた少年期のような時代だったのかもしれない。

開館から5年がたった64年には「ミロのビーナス特別公開」という展覧会が開催された。ミロのビーナスただ一点だけの展示であったにもかかわらず80万人をこえる来館者があり、若々しいエネルギーに満ちた



現在の国立西洋美術館外観

時代であった。このような大規模展は、94年の「バーズ・コレクション展」が集大成といえるだろう。2カ月半ほどの短い会期に100万を越す入場者が押し寄せた。そのような熱気に満ちた青年期を終えて、落ち着いた壮年期に入り、西洋美術館ならではの企画展や常設展が開催されている。企画展としては「ギュスターヴ・モロー」(95)や「イタリアの光—クロード・ロランと理想風景」(98)、「マティス展」(04)、「ヴィルヘルム・ハンマースホイ 静かなる詩情」(08)など、わが国の西洋美術史に関する展望を大きく拡大する事業としてたかく評価しようと自負している。また、コレクションも徐々にではあるが充実し、中世末期から第一次世界大戦までの西洋美術の流れをおおまかにではあるがたどることが可能となっている。

しかし、平成13年から独立行政法人国立美術館という組織になったときから、予想だにしない大波にもまれることになった。独立行政法人化して今年で9年目を迎え、来館者は大幅に増加しているものの、予算は2割以上も減少し、人件費の削減で職員も減らさざるを得なくなった。この結果、作品購入費を減らし、調査研究費を削ってどうにかこれまでの体裁を維持している状態である。このままでは早晩1年のうち数ヶ月を閉館しなければならない状況が訪れるかもしれない。50周年を迎えようとしている現在ではあるが、これからの50年はこれまでの50年とはまったく違った道であろう。50周年に際して、このようなことを記さなければならないのは大変に残念なことではあるが。

(国立西洋美術館長 青柳 正規)

会期：2009年6月4日(木)～8月30日(日)

ル・コルビュジェと国立西洋美術館

Le Corbusier and The National Museum of Western Art, Tokyo



1960年頃の本館



ル・コルビュジェと国立西洋美術館初期全体計画案模型

ル・コルビュジェが設計した本館を振り返る

フランス政府より寄贈返還された松方コレクションを収蔵公開する施設として、1959(昭和34)年東京の上野公園に国立西洋美術館が開館して今年で50年になります。本展は、ル・コルビュジェが設計した本館に焦点をあてた小展覧会です。本館は、ル・コルビュジェ(1887-1965)に師事した坂倉準三、前川國男、吉阪隆正の三人の建築家が現場監理を担当して完成させた、日本で唯一のル・コルビュジェ作品です。また、ル・コルビュジェの「無限成長美術館」構想で実現した三つの美術館のうちの一つでもあります。本館は、日本におけるル・コルビュジェ受容の証であり、また戦後の日仏文化交流の起点でもあったのです。

その後、所蔵作品の増加に伴い必要となった展示スペースのために、また、特別展

専用の展示スペースと美術館活動のさらなる充実を目指して、1979年と1997年に大規模な増築改修工事を行いました。1998年には本館を地震に強い建物とするために、「免震レトロフィット」と呼ばれる改修工事が行われました。本展では、写真資料によってこの50年の建物の歴史をたどります。さらに、ル・コルビュジェが抱いていた本館の構想を、設計図面やスケッチ、模型などによって検証します。これらは、美術館の常設展示室の二室を使って行います。展示をご覧いただいた後、実際に本館を巡ることによってル・コルビュジェが創造した空間をより深く理解していただければ幸いです。

(主任研究員 寺島 洋子)

会期：2009年7月7日(火)～8月16日(日)

かたちは、うつる——国立西洋美術館所蔵版画展

Iconomorphosis: Selected Graphics from the NMWA Collection



アンドレア・マンテーニャ《海神の闘い(左半図)》、1494年以前

フランシスコ・ホセ・デ・ゴヤ・イ・ルシエ
ンテス《陽気の宴》、《宴》(18点連作)より、
1820年頃-23年(1864年初版)



版画、半世紀間のコレクション

今年で開館50周年を迎える国立西洋美術館にとって、この半世紀は、さまざまな展覧会事業や研究活動の蓄積の歴史であると同時に、新たな作品収集、コレクション形成の過程でもありました。当初、仏政府より寄贈・返還された松方コレクション計370点とともに出発した当館は、以後50年間の継続的な購入や寄贈・寄託によって、今日では計4,547点の所蔵作品(平成20年度現在)を抱えるまでに至ったのです。

なかでも、開館当時には24点を数えるばかりであった版画コレクションは、現在では3,747点に膨らみ、いまや当館の所蔵作品全体の中に、欠かせない位置を占めるものとなりました。そこには、デューラーやカロ、ピラネージやゴヤ、ドーミエやピカソといった、西洋版画史を代表する芸術家たちの優品が数多く含まれています。いまだ版画史を包括するとまではいえないにして

も、それを一定に通観しうるだけの充実、当館の版画コレクションは遂げましたのです。

『かたちは、うつる』と題された本展は、こうして国立西洋美術館が収集してきた版画作品を、当館において初めてまとまった規模で展覧する機会となります(若干の素描も含まれます)。鍵となるのは、時代や地域、文化や思想の違いを超えながら西洋の歴史に繰り返し現れ、その都度意味を変容させていく、幾つかの定型的な「かたち」です。さまざまな差異の中で共鳴し合う「かたち」に、この夏、ぜひご注目ください。

(研究員 新藤 淳)

国立西洋美術館開館50周年記念事業
「ル・コルビュジエと国立西洋美術館」展
「かたちは、うつる——国立西洋美術館所蔵版画展」
観覧料(常設展観覧料金でご覧いただけます。)
一般 420円(210円) 大学生 130円(70円)
※高校生以下及び18歳未満、65歳以上、心身に障害
のある方及び付添者1名は無料
※()内は20名以上の団体料金

EVENT イベント

「ル・コルビュジエと国立西洋美術館」に
関連して下記のプログラムを
実施しますので、ぜひご参加ください。

プログラムBとCは事前申込（先着順）が必要です。
申込方法：申込用紙に必要事項を記入の上、ファック
スでお申し込みください。申込用紙は当館
ホームページからダウンロードできます。

<http://www.nmwa.go.jp/>

申込受付開始：5月25日（月）

定員に達し次第締め切ります。

FAX:03-3828-5797

A 講演会

当館本館やル・コルビュジエについ
て、さまざまな側面から取り上げる
レクチャー・シリーズです。

6月6日（土）

山名善之（東京理科大学准教授）

「ル・コルビュジエの無限成長美術館—ムンダ
ネウムから国立西洋美術館」

6月13日（土）

妹島和世（建築家）

「ル・コルビュジエの美術館と美術館建築」

6月20日（土）

松隈洋（京都工芸繊維大学教授）

「ル・コルビュジエと日本近代建築」

6月27日（土）

林美佐（ギャラリー・タイセイ学芸員）

「ル・コルビュジエの壁」

7月4日（土）

ヨコミゾマコト（建築家）

「国立西洋美術館と上野公園」

各日14:00～15:30（開場13:30）

会 場：国立西洋美術館講堂（地下2階）

定 員：各回先着145名（当日12:00より、
館内インフォメーションにて聴講
券を配布します）

参 加 費：無料（ただし、展覧会の鑑賞につ
いては別途観覧券が必要です）

※講演のタイトル、内容は当日変更になる場
合があります。

B 建築ツアー

本館を中心に、ル・コルビュジエの建築の
工夫をめぐるツアーです。

*事前申込制（先着順）

日 時：**7月18日（土）、7月25日（土）、
8月8日（土）、8月22日（土）**

各日10:30～12:00

講 師：山名善之（東京理科大学准教授）

松隈洋（京都工芸繊維大学教授）

対 象：高校生以上 定員：各日15名

参加費：無料

申込番号：B-1（7/18）、B-2（7/25）、

B-3（8/8）、B-4（8/22）

C1 創作・体験プログラム

「誰もいない美術館

～休館日は建物に注目！～」

*事前申込制（先着順）

美術館だけと何か変!? 誰もいない休館日
の美術館で、作品ではなく「建物」に目を
向けます。

日 時：**8月17日（月）**

a 9:00～12:00

b 14:00～17:00

※各回とも同じ内容です。

講 師：新良太（写真家）

対 象：中学生

定 員：各回15名

参加費：無料

申込番号：C-1a、C-1b

創作・体験プログラム

「つくってみよう! 身の丈の家」

*事前申込制(先着順)

まず、自分の身体にとって心地よい空間を、美術館の中で探します。つぎに、身の丈にもついた家づくりに挑戦しましょう。最後に、でき上がった家を庭に持ち出して、ゆっくりとお茶をいただきます。

日時: 8月13日(木)、14日(金)

10:00~17:00

講師: 鈴木明(建築家・神戸芸術工科大学大学院教授)

対象: 高校生

定員: 15名(2日間とも参加できること)

参加費: 無料

申込番号: C-2

レクチャー・コンサート

「ル・コルビュジエと国立西洋美術館」

ル・コルビュジエの「無限成長美術館」構想が実現されている本館を会場にして、その空間を音楽で体感する第一部と、会場を企画展会場ロビー(地下2階)に移し、マリンバ5台の演奏でクライスラーなどによるル・コルビュジエの時代の名曲を楽しむ第二部とで構成されます。

日時: 6月23日(火) 18:00~20:00
6月24日(水) 18:00~20:00

※2日ともプログラムは同じです。

定員: 各日50名・全席自由

入場料: 1500円(税込)

※チケットは5月23日(土)より当館インフォメーションにて発売します。

企画・トーク: 瀧井敬子(東京藝術大学客員教授)

演奏: 藤本隆文(東京藝術大学准教授)とマリンバアンサンブルquint(青木紗央・篠田浩美・久米彩音・牧野美沙)

Museum shop

ミュージアム
ショップ

国立西洋美術館50周年記念グッズ



「エコバッグ」
840円(税込み)

コンパクトに
折りたためます。

Cafe カフェ「すいれん」

国立西洋美術館50周年記念コースメニュー



国立西洋美術館50周年記念コース

「50周年スペシャルコース」4,200円(税込み)

期間 2009年4月1日~8月30日

- フォアグラのテリーヌ
- 黒毛和牛のフィレステーキ 森林風
- スープ
- デザート(ベリーの乗った手作りケーキ)
- サラダ
- コーヒーまたは紅茶
- 自家製パン

※9月からは内容が変わります。

「期間限定コース」各2,100円(税込み)

第1弾

2009年
6月16日~
6月30日

- 黒毛和牛のハンバーグステーキ
- スープ
- サラダ
- パン又はライス

第2弾

2009年
7月1日~
7月31日

- 黒毛和牛カタロースのステーキ
- スープ
- サラダ
- パン又はライス

第3弾

2009年
8月1日~
8月30日

- 黒毛和牛のハヤシライス
- スープ
- サラダ

国立西洋美術館開館50周年記念事業 展覧会・イベントスケジュール

●展覧会

◇「ルーヴル美術館展 17世紀ヨーロッパ絵画」

2月28日(土)～6月14日(日)

「ルーヴル美術館展」は好評につき、下記の通り開館時間を延長いたします。

6月4日(木)～6月14日(日)19:00閉館(入館は18:30まで)

※6月5日(金)、6月12日(金)は20:00閉館(入館は19:30まで)

◇「古代ローマ帝国の遺産

—栄光の都ローマと悲劇の街ポンペイ—

9月19日(土)～12月13日(日)

◇「フランク・ブラングイン展」

2010年2月23日(火)～5月30日(日)

●OPEN museumプログラム

◇小企画展「ル・コルビュジエと 国立西洋美術館」

6月4日(木)～8月30日(日)

◇「かたちは、うつる —国立西洋美術館所蔵版画展」

7月7日(火)～8月16日(日)

◇小企画展「ローマ 未来の原風景 by HASHI」

9月19日(土)～12月13日(日)

◇小企画展「所蔵水彩素描展」

2010年2月23日(火)～5月30日(日)

◇ファミリー・プログラム どうようびじゅつ

当館の常設展にある絵や彫刻を、みんなで一緒に楽しむ鑑賞と創作がセットになった体験型のプログラムです。

*詳細は当館HPをご参照ください。

<http://www.nmwa.go.jp/jp/events/family.html>

◇FUN DAY

7月11日(土)・12日(日)

当館を終日開放する日です。子どもから大人までが参加できる様々なプログラムをご用意します。

◇Museum X'mas in 国立西洋美術館

「美術館でクリスマス」冬

◆ガーデン・イルミネーション

◆来館者プレゼント

◆クリスマス・プログラム

「絵でたのしむクリスマス」

「クリスマス・キャロル

コンサート」



open museum
国立西洋美術館

OFFICIAL PARTNER EPSON

国立西洋美術館

- 所在地…〒110-0007 東京都台東区上野公園7-7
- 開館時間
通常…午前9時30分～午後5時30分
(ただし、12月15日(火)から春の企画展開催日までの開館期間中=午前9時30分～午後5時)
毎週金曜日…午前9時30分～午後8時
*入館は閉館の30分前まで
- 休館日…月曜日(ただし、月曜日が祝日あるいは振替休日となる場合は翌火曜日) 年末年始(12月28日～翌年1月1日)、8月31日(月)～9月3日(木)、9月18日(金)
*その他、臨時に開館・休館することがあります。
- 常設展無料観覧日…毎月第2、第4土曜日、文化の日(11月3日)
- お問い合わせ…ハローダイヤル:03-5777-8600
<http://www.nmwa.go.jp/>

*誌名について…「ZEPHYROS」(ゼフュロス)はギリシャ神話の神々のひとりで、西風を司る神様の名前です。西欧では暖かさや色さまざまな花々を運ぶ春の風をさします。

ZEPHYROS

ZEPHYROS 第39号

編集・発行 国立西洋美術館/平成21年5月20日(年4回発行)
協力(財) 西洋美術振興財団
印刷(株) アイネット

2009年、国立西洋美術館開館50周年。

展示カレンダー [企画展示/常設展示] 2009年5月～2009年10月

休館日 土日・祝日

MAY	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
5	ルーヴル美術館展 17世紀ヨーロッパ絵画 (企画展示室) 2月28日(土)～6月14日(日)																														

常設展全室閉室5月11日(月)～6月3日(水)
※5月12日(火)～6月3日(水)の期間中に「ルーヴル美術館展」をご観覧の方には、常設展関連のプレゼントをご用意しております。

JUN	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
6	ルーヴル美術館展 17世紀ヨーロッパ絵画 (企画展示室) 最終日6月14日(日)																														

新館リニューアルオープン6月4日(木) ル・コルビュジエと国立西洋美術館 (本館19世紀ホール、新館2F版画素描展示室) 6月4日(木)～8月30日(日)
常設展全室閉室5月11日(月)～6月3日(水)
※5月12日(火)～6月3日(水)の期間中に「ルーヴル美術館展」をご観覧の方には、常設展関連のプレゼントをご用意しております。

JUL	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
7	かたちは、うつる—国立西洋美術館所蔵版画展 (企画展示室) 7月7日(火)～8月16日(日)																														

ル・コルビュジエと国立西洋美術館 (本館19世紀ホール、新館2F版画素描展示室) 6月4日(木)～8月30日(日)
●● FUN DAY 7月11日(土)、12日(日)

AUG	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
8	かたちは、うつる—国立西洋美術館所蔵版画展 (企画展示室) 最終日8月16日(日)																														

ル・コルビュジエと国立西洋美術館 (本館19世紀ホール、新館2F版画素描展示室) 最終日8月30日(日)
常設展示替えのため、全館休館 8月31日(月)～9月3日(木)

SEP	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
9	古代ローマ帝国の遺産 —栄光の都ローマと悲劇の街ボンペイ— (企画展示室) 9月19日(土)～12月13日(日)																														

常設展示替えのため、全館休館 8月31日(月)～9月3日(木)
ローマ未来の原風景 by HASHI (新館2F版画素描展示室) 9月19日(土)～12月13日(日)
館内点検・展覧会開催準備のため臨時休館 9月18日(金)

OCT	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
10	古代ローマ帝国の遺産—栄光の都ローマと悲劇の街ボンペイ— (企画展示室) 9月19日(土)～12月13日(日)																														

ローマ未来の原風景 by HASHI (新館2F版画素描展示室) 9月19日(土)～12月13日(日)

※展覧会名、会期、内容等は変更されることがあります。

●常設展示 (本館)

ロダンの彫刻と、中世末期から18世紀末頃までのオールド・マスターの絵画、モネ・ルノワールなどのフランス近代絵画と20世紀初頭までの絵画を展示しています。(常設展示室を一部閉室しております。展示作品については、館内インフォメーションでおたずねいただくか、当館ホームページをご覧ください。)

●常設展示室閉室のお知らせ

新館設備改修工事、館内整備等のため、次のとおり常設展示室を閉室いたします。
2007年9月～2009年5月10日(日) 一部閉室(本館のみ常設展をご観覧いただけます。)
2009年5月11日(月)～6月3日(水) 全室閉室(常設展はご観覧いただけません。)

●全館休館・臨時休館のお知らせ

常設展示替えのため、2009年8月31日(月)～9月3日(木)の期間、全館休館いたします。
館内点検・展覧会開催準備のため、2009年9月18日(金)は臨時休館いたします。
来館者の皆様にはご不便、ご迷惑をおかけいたしますこと、心よりお詫び申し上げます。
何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。

チケット売場、館内施設(常設ミュージアムショップ、カフェ「すいれん」)でSuica、各種クレジットカードがご利用いただけます。(ただし、一部除外品がございます。)

詳細については、当館ホームページをご覧ください。